

バングラデシュ

シレット・コンバインド・サイクル発電所建設事業(1)(2)



完成したコンバインド・サイクル発電所

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	14,113百万円 / 13,980百万円
借 款 契 約 調 印	1987年8月 / 1993年9月
借 款 契 約 条 件	金利1.25% / 1.0%、返済30年(据置10年)
貸付完了	1997年8月 / 2000年8月

[事 業 概 要]

首都ダッカ北東のシレット県にコンバインド・サイクル型の発電所(90MW)を建設し、同国の電力需要の増加に対処するもの。

[評 価 結 果]

本事業においては、発電プラントの国際価格の高騰、1988年の大洪水を踏まえたサイト土盛工事の増加等により、事業費が当初予定額を超過したため追加借款が供与された。

発電所は1995年に完成し、翌96年には計画値(約580GWh/年)を上回る発電を達成した。その後、ガスタービンの故障により1999~2000年の発電量は大幅に低下したが、修理の結果2001年には500GWhを上回る発電量を回復している。

今後とも安定的な運用を図ることにより電力供給に貢献するとともに、国内産天然ガスの有効利用を通じて外貨節約にも寄与して行くことが期待される。

なお、発電所の運営・維持管理については、バングラデシュ電力庁(BPDB)職員のトレーニング等により技術レベルの一層の向上を図ることが求められる。また、電力セクター改革としてBPDBの再編等が進行中であるため、その動向にも留意することが必要である。